

地域と家庭と学校が一つになって子どもを育む…それが“チーム七小”です！



# くさぶえ

福生市立福生第七小学校  
令和7年度 学校だより

福生第七小学校  
ホームページ  
URL



<https://fussa-7e.hs.fussa.school/>

所在地 福生市北田園一丁目1番地1

発行責任者 校長 菅野 恭子

令和7年6月30日 発行

## ことばを 豊かに

校 長 菅野 恭子

1学期も残すところ、あとわずかとなりました。7月は「1学期のまとめ」の月です。6月の実践の月を経て改めて日々の生活を振り返り、再度挑戦したり2学期に繋げたりする期間でもあります。2学期を気持ちよくスタートするためにも、1学期にできるようになったことや今後改善していくことなどを丁寧に振り返り、夏休み期間の過ごし方等を話していきます。

### 「ことばを 豊かに」

本校は、令和7・8年度の2年間、福生市教育委員会の校内研究奨励校として指定を受けているため、児童の実態を踏まえた学習の充実に向けて授業や学習環境の改善を図っています。今回、実態から改めて分かったことは、語彙力・読解力・理解力の向上が不可欠であるということでした。また、併せて読書量も少ないということも分かりました。

子どもたちの環境に目を向けてみると、SNSをはじめ様々なコンテンツから多くの情報が降り注ぐように日々流れてきています。中には、あたたかみや深みの無い鋭く印象強い言葉で受け手の気持ちを刺激するものや、短く端的に誇大表現された同じような言葉が繰り返し使用されている様子も見受けられます。このような環境にしていると、「ヤバイ」「キモい」「うける」「全然大丈夫」等、考えを伝えるのではなく乱れた言葉で印象を簡単に伝えるものが乱用され、考え方や気持ちを上手く表現できないことも増えてきます。

感情や衝動を言葉で上手く表現できないことや正しく受けとることができないもどかしさから手が出たり、感情任せで発した言葉が予想以上に相手を傷付けてしまったりすることがあります。それが自己肯定感の低下にも繋がってしまいます。このようなことから、語彙力が低いと「伝える力や表現力が弱くなる」「理解力や読解力が低くなる」「思考が浅いものになる」という弊害が生じてきます。まさに、「言葉の乱れは心の乱れ」となってしまいます。

一方で、経験を積み言葉の表現方法が少しずつ豊かになると、相手の気持ちに合わせて話ができたり、言葉の背景を考えながら聞くことができたりします。さらに、文章を読むときも行間を読むことで世界観を広げて理解することができるようになります。言葉を豊かにするためには、表現方法を増やすだけでなく状況に応じた使い方ができるように、言葉の意味や使う時の状況を考えたりすることが大切になってきます。このことから、「ことばの豊かさは思考の豊かさ」にも繋がります。

このようなことから、次の4点を意識すると語彙力が高まると言われています。①「言葉への感度を高める」②「様々な種類の本を読む」③「多様な人々と会話する」④「相手を意識して書く、話す等」、これらを踏まえ学校として授業改善の他、保護者や地域の方々にも御協力いただきながら読書環境をさらに充実させて子どもの内面を育てていきたいと考えています。



夏休みには、お子さんと過ごす時間が多くなると思います。ぜひ、日頃使う言葉に意識を高め、「どのような言葉が、どのような場面で、どのように使われているか」「どのような言葉が気持ちや状況に合っているか」など話題にしていいただければと思います。また、一緒に読書の時間を設けるのも効果的です。

### (一例) 1年生:「ことばのたからばこ」4年生:「今が旬の本コーナー」

各学年、言葉の感度を高める工夫や授業内容と関連した読書資料コーナーづくり等を工夫しています。

お子さんと読書を通して感じたことや考えたことを会話しながら、「ことばを豊かに」そして「心を豊かに」する時間を大切にしましょう。